

令和3年度学校保健統計調査の概要（確報）

—三重県分—

1. 調査の目的

この調査は、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的としています。

2. 調査の範囲・対象

(1) 調査範囲

幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校及び高等学校のうち、文部科学大臣があらかじめ指定する学校（以下「調査実施校」という）

(2) 調査の対象

調査実施校に在籍する満5歳から17歳（令和3年4月1日現在）までの幼児、児童及び生徒（以下「児童等」という）の一部

区分	学校総数	調査実施校		児童等 総数	発育状態調査		健康状態調査	
		学校数	抽出率		対象者数	抽出率	対象者数	抽出率
幼稚園	229園	32園	14.0%	6,553人	1,108人	16.9%	1,818人	27.7%
小学校	367校	59校	16.1%	90,203人	5,504人	6.1%	25,731人	28.5%
中学校	170校	39校	22.9%	48,072人	4,225人	8.8%	16,505人	34.3%
高等学校	71校	27校	38.0%	43,808人	2,420人	5.5%	20,507人	46.8%
合計	837校	157校		188,636人	13,257人	7.0%	64,561人	34.2%

- 発育状態の調査は、調査実施校に在籍する児童等のうち、年齢別・男女別に抽出された者を対象とし、健康状態の調査は、調査実施校に在籍する児童等のうち、調査対象年齢の全員を対象としています。
- 学校総数について、幼保連携型認定こども園は幼稚園に含みます。また、義務教育学校は小学校及び中学校にそれぞれ計上、中等教育学校は中学校及び高等学校にそれぞれ計上しています。
- 児童等総数について、幼稚園は幼保連携型認定こども園を含んだ5歳児のみの人数、小学校は義務教育学校（第1～6学年）を含んだ人数、中学校は義務教育学校（第7～9学年）及び中等教育学校の前期課程を含んだ人数、高等学校は中等教育学校の後期課程を含み、全日制の専攻科及び定時制の4年生を除いた人数です。

3. 調査事項

学校保健安全法により実施される健康診断の結果に基づき、児童等の発育状態（身長、体重）及び健康状態（疾病、異常の有無）を調査。

※詳細は健康状態調査項目の詳細を参照

4. 調査の時期

令和3年4月1日から令和4年3月31日までの間に実施。

5. 利用上の注意

統計表における記号の意味は、次のとおりです。

「0.0」…計数が単位未満の場合

「—」…計数がない場合

「…」…調査対象とならなかった場合

「△」…計数がマイナスとなる場合

「X」…標本サイズが小さい等のため統計数値を公表しない場合

6. 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応

令和3年度については、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、例年4月1日から6月30日に実施される健康診断について当該年度末までに実施することとなったため、学校保健統計調査においても、調査期間が年度末まで延長されました。

このため、本集計結果は、成長の著しい時期において測定時期を異にしたデータを集計したものとなっており、過去の数値と単純比較することはできません。

7. 調査結果の概要

(1) 発育状態調査

三重県平均値と全国平均値との差は、身長は -0.9 cm \sim $+1.1$ cm、体重は -1.1 kg \sim $+0.7$ kgの変動がありました。

男子と女子を比較すると、身長・体重とも13歳から男子が女子を大きく上回り、男女差が最大となったのは、身長では16歳で13.5 cm、体重では17歳で10.6 kgでした。

父母世代と比較すると、身長は -0.7 cm \sim $+1.6$ cm、体重は -0.6 kg \sim $+1.8$ kgの変動がありますが、全体的に増加しています。

(2) 健康状態調査

裸眼視力1.0未満の者の割合（5歳 \sim 11歳、13歳 \sim 14歳）が最も高いのは14歳で53.3%、最も低いのは5歳で21.0%となっています。全国と比較すると、6歳を除くすべての年齢で三重県が全国より低くなっています。

鼻・副鼻腔疾患（蓄のう症、アレルギー性鼻炎（花粉症等）等）の者の割合（5歳～15歳）が最も高いのは8歳で12.6%、最も低いのは11歳で2.3%となっています。全国と比較すると、6歳～7歳、9歳～11歳、13歳～14歳で三重県が全国より低くなっています。

むし歯（う歯）の者の割合（処置完了者を含む）が最も高いのは8歳で49.7%、最も低いのは5歳で26.6%となっています。全国と比較すると、6歳を除くすべての年齢で三重県が全国より高くなっています。

アトピー性皮膚炎の者の割合は、全国と比較すると、6歳～15歳、17歳で三重県が全国より高く、5歳、16歳で三重県が全国より低くなっています。

ぜん息の者の割合は、全国と比較すると、5歳～7歳、9歳～10歳、12歳、14歳～17歳で三重県が全国より高く、8歳、11歳で三重県が全国より低くなっています。

(3) 肥満傾向児、痩身傾向児の出現率

肥満傾向児の出現率は、男子は11歳で最も高く13.18%、女子は10歳で最も高く9.91%となっています。また、男子では5歳、8歳、11歳、13歳で、女子では6歳、8歳、10歳、14歳で三重県が全国より高くなっています。

痩身傾向児の出現率は、男子は15歳で最も高く6.69%、女子は12歳で最も高く、4.02%となっています。また、男子では6歳～7歳、9歳、11歳～12歳、14歳～15歳で、女子では5歳～6歳、9歳～13歳、16歳～17歳で三重県が全国より高くなっています。